

# 高台秋月



彼れの森此の林を見下してちかく覚ゆる高台の月 児笑

天に一つ水に一つ高台の月は今宵のながめなりけり 同

見上ぐれば今もさやけし三の丸高きうてな秋の夜の月 若芝

くまもなく空すみ渡る秋の夜はことにさやけし高台の月 梅雄

出るよりくまとなるべき山もなくかげさしのぼる高台の月 陰行

明らけき月の光りに夜もすがら高台の名や照り渡るらむ 本也

竹たばはくずれど残るこの城の名も高台の秋の夜の月 同

いづくにも照りそふ影は変らねどわけてさやけき高台の月 同

夜もすがらくまなく晴て照り渡る名も高台の月の影かな 一誠

高台は名のみ残りて夜なくに今は月のみすめる秋の夜 鷺樂

武士の昔を忍ふ高台に光り変らぬあきの夜の月 千代住

名も高きうてなにさゆる秋の夜の月に昔を忍ばれにける 系丸

そのかみの秋もかくやと思ふまでかげさやかなる高台の月 同

をちこちの山てふ山をてる月もこの高台の露に寝れり 鶴成

高台の月のかわらぬかげ見れば君や昔ぞ忍ばれにける 花友

今も尚あわれ昔のしのばれつ名も高台に月さゆる夜は 面造

三の丸は高きうてなも久方のくもるの月にかゝる雲なし 春成